

岡山県立玉島商業高校

玉商エボリューション『新たな学び創出』 ～ e-learning systemを活用した スマートフォンによる学び ～

取組等の概要



本校では、平成26年度にiPadを40台揃え活用することで、授業での生徒の学習意欲を喚起し、学力の定着を図るための取組を行いました。平成28・29年度岡山県教育委員会から研究指定を受けスマートフォン（以下、スマホ）・携帯電話を活用した家庭学習の定着と充実、学力向上に取り組む研究を行いました。これは、「『遊びの道具』を『学びの道具』」にというコンセプトで全国的にも珍しく県下初のスマホ・携帯電話を活用した学習の取組です。

具体的には、各教科で教材をデータベース化しクラウドにアップロードし、ICTを活用した授業を行うことで、授業の質的な向上を目指すとともに、生徒の興味・関心を引き出し学習への意欲を喚起することを目標としています。クラウド上に教材があることで、生徒は家庭学習や登下校の合間に、スマホ・携帯電話でクラウドにアクセスすることができ、「いつでも」、「どこでも」主体的に学習できる環境が構築できています。

学習コンテンツは、既存（市販されているソフト等）のものではなく、生徒の実態に合わせて本校で独自に開発したものを主に配信しています。そのコンテンツは①授業の復習（確認）②授業の作品閲覧③小テスト対策④進路対策⑤定期考査対策⑥検定対策⑦学年・HR・部活動の情報発信⑧地域学習に関係するものなどです。例えば、地域学習でフィールドワークを行う際に、地元のケーブルテレビから玉島の歴史や文化、人物などに関する動画を提供してもらい、生徒はクラウドにアップロードされたその動画を視聴しレポートにまとめました。動画から得られる情報を主体的に分析し課題を発見しグループで共有することができ、実際のフィールドワークに活かすことができました。地域との連携をとおして、より深い学びを行うことができた事例です。

さらに、本年度すべてのHR教室にWi-Fiが設置され、プロジェクタや教材提示装置、iPadなどのICTをフルに活用した授業展開による授業の質をより向上させることができるようになりました。生徒の「学びに向かう好奇心」を喚起し、主体的・対話的で深い学びにより学習効果を上げていくことが、すなわち「玉商エボリューション」です。